

平成25年度
「地域連携型インターンシップ」
アンケート集計結果（学生対象）

北九州地域産業人材育成フォーラム
H25年 10月 31日

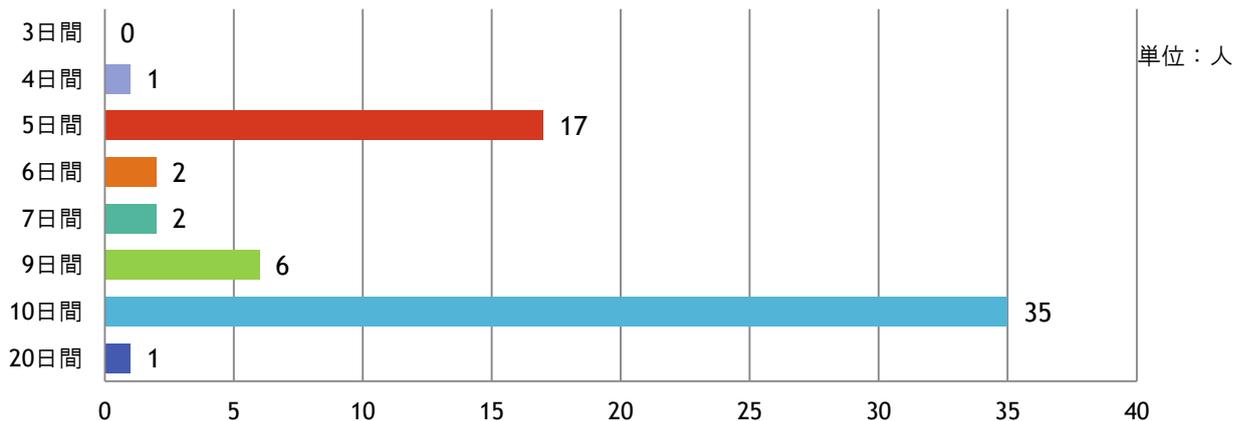
1. アンケート概要

実施期間： H25年 9月1日～10月15日

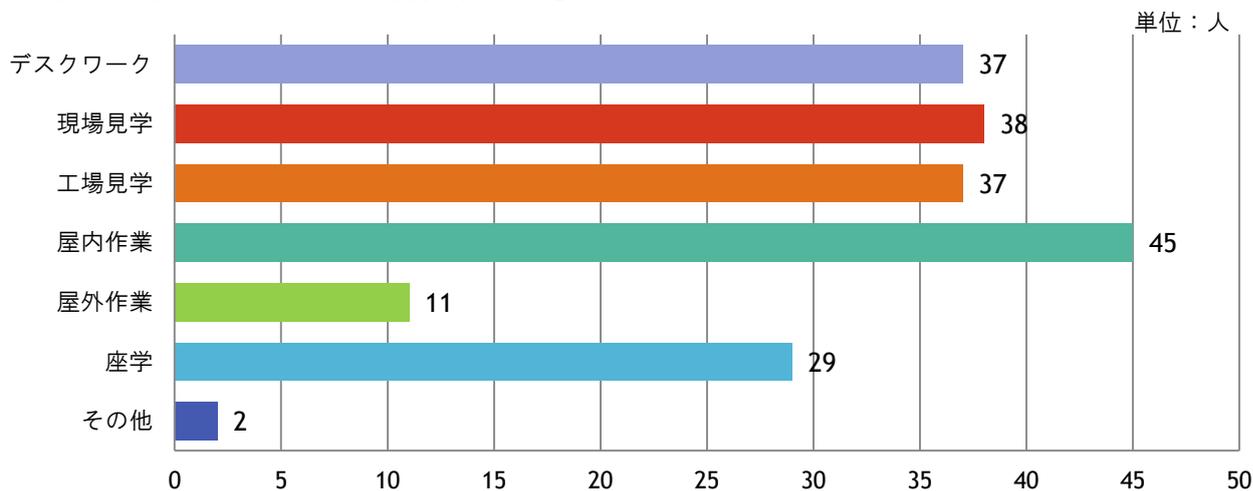
対象者： H25年度 インターンシップ参加学生 122名
(九州工業大学、北九州市立大学、西日本工業大学、北九州高専)

回答数： 65名 (回収率 53%)

2. 実習日数(実働日数)について



3. 主な実習内容について (複数回答可)

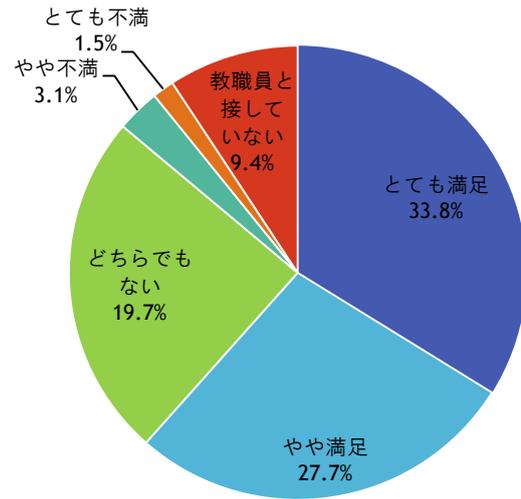


《 その他 》

◆ 棚卸 ◆ 研究内容の紹介

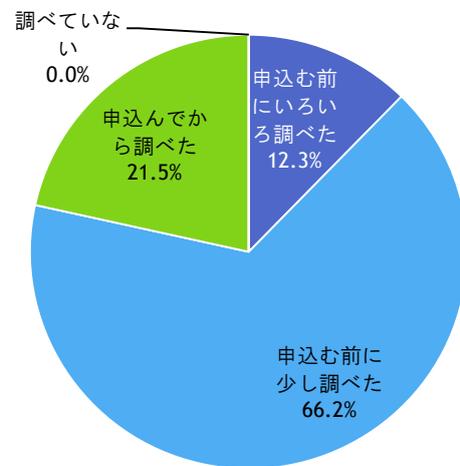
4. 実習前の情報提供について

	人数
とても満足	22
やや満足	18
どちらでもない	16
やや不満	2
とても不満	1
教職員と接していない	6



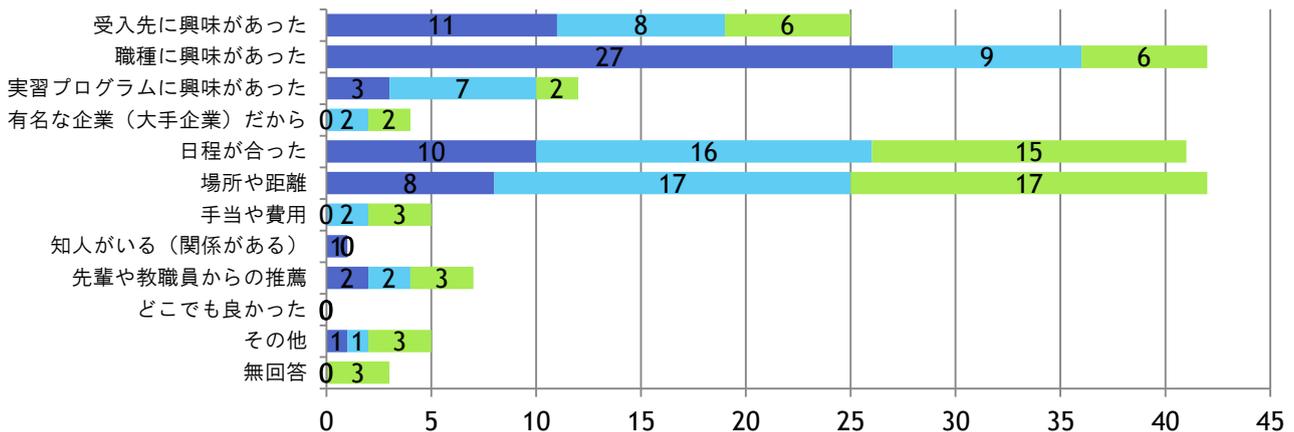
5. 実習前の企業研究(下調べ)について

	人数
申込み前にいろいろ調べた	8
申込み前に少し調べた	43
申込んでから調べた	14
調べていない	0



6. 実習先の選択理由について(優先順位1～3位を回答)

単位：人



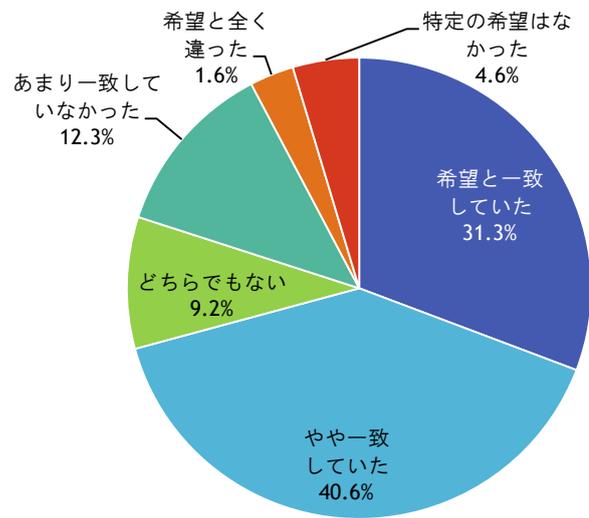
	無回答	その他	どこでも良かった	先輩や教職員からの推薦	知人がいる(関係がある)	手当や費用	場所や距離	日程が合った	有名な企業(大手企業)だから	実習プログラムに興味があった	職種に興味があった	受入先に興味があった
1位	0	1	0	2	1	0	8	10	0	3	27	11
2位	0	1	0	2	0	2	17	16	2	7	9	8
3位	3	3	0	3	0	3	17	15	2	2	6	6

《 その他 》

- ◆ インターンシップミーティングで知った ◆ 事業内容 ◆ 学科指定があったので、仕事に興味を持った
- ◆ 同じ学科の人で実習先に就職した人がいるから ◆ 中小企業だったから

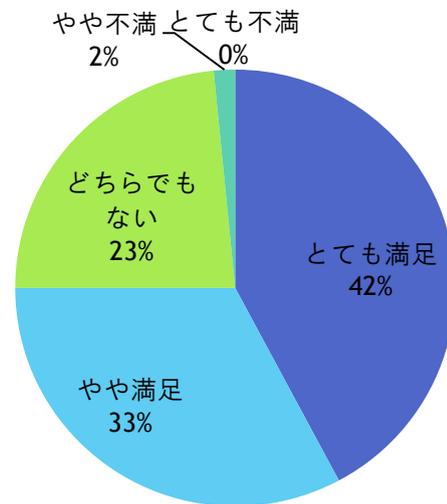
7. 実習内容と希望の一致度について

	人数
希望と一致していた	20
やや一致していた	26
どちらでもない	6
あまり一致していなかった	8
希望と全く違った	2
特定の希望はなかった	3



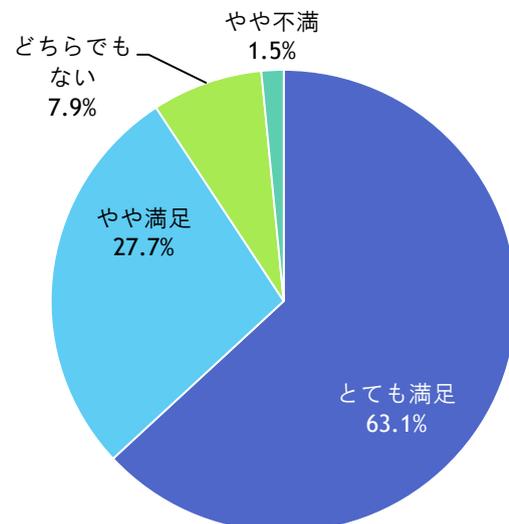
8. 実習前の情報提供の満足度

	人数
とても満足	27
やや満足	21
どちらでもない	15
やや不満	1
とても不満	0



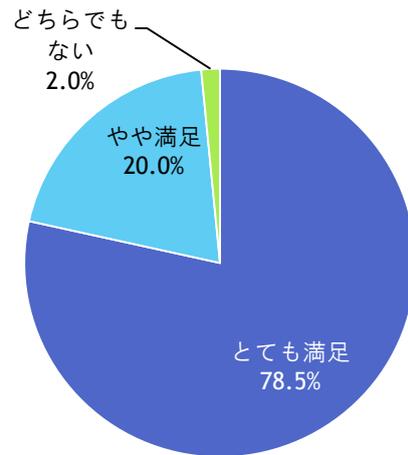
9. 実習初日の説明やガイダンスの満足度

	人数
とても満足	41
やや満足	18
どちらでもない	5
やや不満	1
とても不満	0



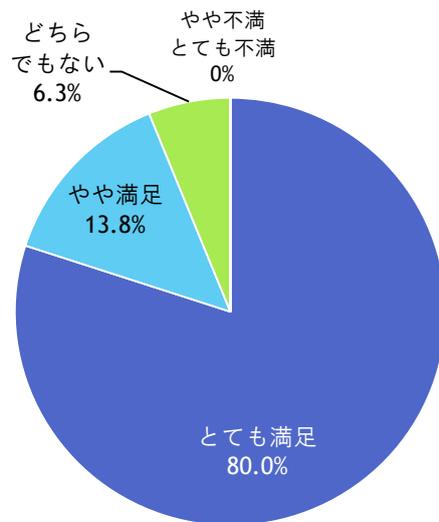
10. 実習中の指導や対応の満足度

	人数
とても満足	51
やや満足	13
どちらでもない	1
やや不満	0
とても不満	0



11. 総合的な満足度

	人数
とても満足	52
やや満足	9
どちらでもない	4
やや不満	0
とても不満	0



12. インターンシップ参加動機について（自由筆記）

- | | |
|--|-------|
| ◇ 経験してみたかった(社会経験) | (27件) |
| ◇ 自分の進路・将来について、方向性・自信をつけるため | (4件) |
| ◇ 会社・企業や社会人の雰囲気をつかむため、知るため | (7件) |
| ◇ 社会でどの程度通用するのか知りたかった | (6件) |
| ◇ 単位取得 | (6件) |
| ◇ 就活に向けて | (18件) |
| ◇ 実習内容に興味があった。 | (2件) |
| ◇ 自分が興味を持つ企業、業種、職種について知りたい。 | (8件) |
| ◇ 就活に有利 | (2件) |
| ◇ 日程があった | (1件) |
| ◇ 寮のプログラム | (2件) |
| ◇ 勧められて(学校等) | (2件) |
| ◇ 高校一年のころに授業で介護補助ロボットのHALについて調べました。一昔前は夢だったものが、驚異的な速さで現実のものとなっていっていることに感動を覚え、自分もその最前線に立ち貢献したいと思いました。
しかし、同時に現在の技術の限界も知りました。今回こちらの企業を希望したのは、その創業理念に惹かれたからです。 | |
| ◇ 大学生活を今後、有意義にまた目的のあるものにしたかったから。 | |

13. 実習前の期待や不安について（自由筆記）

《期待》

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ◇ 実際に「働く」ことを体験できる。 | (10件) |
| ◇ OB・OGを含む、社員の方々からの話を聞くことが出来る。 | (2件) |
| ◇ 興味がある事業内容で、何を学ぶことが出来るか。 | (2件) |
| ◇ 新しい知識を得ることが出来る。 | (3件) |
| ◇ どんな人々が働いているのか | (1件) |

《不安》

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ◇ 社員や他の実習生とのコミュニケーション | (17件) |
| ◇ 社会人マナー(言葉遣い、礼儀、遅刻) | (8件) |
| ◇ 失敗などで、社員の方々に迷惑をかけるかもしれないこと。 | (10件) |
| ◇ 実習企業の雰囲気や環境。 | (3件) |
| ◇ 実習内容が事前に分からなかったこと | (3件) |
| ◇ 交通手段 | (1件) |
| ◇ 語学力(留学生) | (1件) |
| ◇ 体を使う仕事に耐えられるかどうか不安だった。 | (1件) |
| ◇ 得られるものが、あるかどうか | (2件) |
| ◇ ケガ等 | (1件) |
| ◇ 特になし | (3件) |

14. 実習で得たもの（自由筆記）

- ◇ 企業の考え方や取組み・雰囲気、実際の業務内容などを知る事ができた
- ◇ 働くということについて（責任の重さ、経験、大切さ 等）
- ◇ 業務を行う際のスキルや技術的知識、業界に関する知識などを学んだ。
- ◇ コミュニケーション能力
多くの方と会話することの大切さ
- ◇ 今後の学生生活・就職活動についての取組み方、学習意欲が湧いた
- ◇ 社会人としての心得、マナー
- ◇ 将来像を描くことができた
- ◇ 仕事に対する価値観・やりがい・楽しさを感じる事が出来た。
- ◇ 学生と社会人との違い（考え方・体験）
- ◇ 社会人の方々の経験談を聞くことが出来た。
- ◇ 今まで学んだことが社会で活かされていることを実感した。
- ◇ 企業が求めている人材像を知ることが出来た。
- ◇ 計画を立ててから動きだすべきだという教訓。

15. 実習前後での考え方の変化（自由筆記）

- ◇ 自分が進むべき業種は正しかったと分かった。
いろんな人に話しかけてみようと思うようになった。
体力を付けようと思った。
- ◇ アルバイトの経験はあっても、今まで社員として働いたことはなく、今回の実習で会社、社員の事を強く念頭に置いた働き方を目の当たりにして、強く心を打たれました。
- ◇ 安全について
大学でも実験前に安全についての授業があり、大切だとは思っていたが、控除では朝礼で“マシントラブル時はデリバリ電源切ろう”などの注意を復唱したり、定期的に工場の危険な場所を指摘して改善策を出す会議があったりとより安全な借場を目指した活動があり、それに参加することで、安全を重視する大切さがよく分かった。
- ◇ 行く前まではある程度の責任感をもって行く準備をしていましたが、行った後ではある程度というあいまいな感情では迷惑になると考えを見直しました。普段、体験することない責任感の重大さを実感できました。
- ◇ 行くまでは社会人というのはとても忙しく働いていて、他人を利用している人達ばかりだと思っていたが、確かに人間関係は大学生みたいではなかったですが、会社のために一生懸命働いており、仲間間の信頼がとてもあるなと思いました。
- ◇ 今までは自分は社会に出た時にどんな仕事をするのかがあいまいでしたが、実習後は少しずつですが、働いている自分をイメージすることができるようになりました。
- ◇ 営業という部署には前は絶対いきたくないと思っていましたが、色んな人と関われるという面から、少し興味を持つようになりました。
- ◇ 英語がこれから必要になるということ。
- ◇ 会社では同じことの繰り返しで業務に取り組むものと思っていたが、私の実習先では、業務がマンネリ化せず緊張感もあるが、楽しく作業に取り組める印象を受けた。
- ◇ 会社で働く方は淡々と業務をこなしてばかりいるものだと思ってはいたが、楽しそうにしている人も多く軽い気持ちで仕事に取り組んでいた。力の入れ所、抜き所を上手く切り換えていたので、見習う所が多々あった。

- ◇ 会社で働くということは厳しいことばかりかと思っていましたが、働く中で楽しみもあるということを感じた。
- ◇ 会社に入って社員として活動するのはとてもしっかりしたもので、常にビシッとしていなければならないと思っていましたが、実際はそこまでかしまってなくルールさえちゃんとすればそこまで気を張る必要はないのだと考えました。
- ◇ 現場の方、管理の方それぞれの意志を統一することの難しさ。
- ◇ 国際化について、特に英語の大切さ
- ◇ ごみの分別を改めて徹底しようと思いました。
また、何事にももっと自分で考えて行動しようと思いました。
- ◇ コミュニケーション・挨拶の重要性。
積極的にコミュニケーションを取っていけるようになった。
PDCAという考え方。何事にも頭で考えることの重要性、いかに自分から問題提起していけるかということ。
イメージの力。
大学での知識や経験が重要だということ。
- ◇ これまでは、自分の研究を最優先にしてあまり興味のない講義をできるだけ排除する傾向があった。しかし、実習に参加して、多くのものに触れ自分のキャパシティを広げることが大切だと思うようになった。
- ◇ 作成した製品やプログラムはただ、出来上がれば良いと思っていたが、実習へ行って、後に修正することを考えて作成する必要があるということ
- ◇ 仕事を行う上で自分の物事に対する取り組み方や考え方の甘さに気が付いた。
- ◇ 仕事をする上で、他の人との相性も大事であり、上手く人付き合いをすることが、仕事を上手いさせる要因になるのだと気付かされた。
- ◇ 仕事をするに関して、漠然としかイメージが付きませんでした。実習を通して、働くことの大変さや楽しさを知ることができました。
- ◇ 実習ない世に関する事業に少し興味をもてた。
社会人として働くということの大変さを知った。
- ◇ 実習に行く前はなんとなく大変なのかなと考えていたが、行った後は、自分がやっている仕事の意味をきちんと考えないといけなく考えるようになった。
- ◇ 実習へ行く前は「プレゼンの提案」や「営業」は自分には絶対向いてないと思っていました。しかし、実際に社員にプレゼンの提案をしてみて、少し楽しいと感ずることができました。相手に自分の気持ちを思い切りぶつけ、評価してもらうのは初めての経験でワクワクした気持ちでした。自分は女だから「事務」と決めつけていましたが、考え方が変わりました。
- ◇ 実習前には、就職に対して何かをやっておかなければならない、何かアピールできるものを持っておかなければならないというように、抽象的なイメージしか持っていなかったが、インターンシップを通して企業で求められるものを自分なりに掴み、目標を得ることができた。
- ◇ 実習前は、開発することは今までなかったものを生み出すようなイメージを持っていたんですが、実習後は、既に作られているものを組み合わせても新しいものを生み出せるんだということが分かり、開発することの幅が広がりました。
- ◇ 自分が就職したい企業の大きさ
- ◇ 自分がやっている事が単純でも、場合によっては大きな影響を与えてしまうということを社会人生活では気をつけるべきだと考えるようになった。
- ◇ 自分自身の考えというのはよくわからないが、予想以上に仕事の役に立てた、というか買っていただいたようで、非常に嬉しかった。
自分には、企画とかが向いているのかなと思った。
- ◇ 自分の進路として就職ではなく、進学も考えるようになった。
- ◇ 社会人がどのようなものか責任感がかわった。
- ◇ 社会人になる上で、軽い気持ちではなれないという事、会社選びが重要であること。そのあたりの事を実習前は考えが甘かったなと思った。

- ◇ 社内の雰囲気、イメージとは異なっていた。社員がお互いに協力し、話し合いながら楽しく作業している姿に、上から命令されることをただ、行うだけだと思っていたが、そんな感じはせず、もっと自由な雰囲気があった。
- ◇ 就活の際、技術力を持ち、かつ設計から迅速・柔軟に製造まで移行できる中小企業への就職も検討に入れようかと思った。
- ◇ 就職活動に対しての考え方が変わりました。
- ◇ 就職してからも勉強することがたくさんある、ということが分かった
- ◇ 就職状況が厳しい今でも、まず、会社の雰囲気、仕事内容が自分に合っているかを知ることが大切だということを学んだ。
- ◇ 知らないことがありすぎることを実感させてくれて、何においても調べたり等、積極的な姿勢が大切だと思った。
- ◇ 真剣に考えようと思った。
- ◇ 震災後のBtoB企業間の関係性。
製品の受注側にだけリスクを負わせるのではなく、ともに助け合うという考え方が重要になると感じた。
- ◇ そこそこ社会人としてやっていけると思っていたのですが、あまり出来なかつたため、まだまだなのだと実感した。
- ◇ 大学でやっていることをインターンシップで生かすことができ、日々の勉強をいっそう頑張ろうと思った。
- ◇ 就きたい分野というのが少しずつ見えてきました。
- ◇ 電気の業界の中にも多くの階層があり、その中のどれを選ぶかが、今後の就活で必要となることを知った。
- ◇ 特に変化はなかったが、実習終了後は、2週間という期間がとても短く感じた。
- ◇ どんな業種でも構わないが、せめて自分が学んだ分野とかかわりのあるような業種に就職したいと思うようになった。
- ◇ どんな糊塗でも、仕事には責任をもっと持たなければいけないという事
- ◇ 人間関係の大切さを一層感じた。
- ◇ 働くことは大変だと思うようになった。
- ◇ 働くのはきついで、進学したいと思った。
- ◇ 前→就職活動は関心がなくやる気がなかった。
後→触発され、意欲がでた。
- ◇ 前→不安
後→得たものが多かったので、これからは役に立つよう。
- ◇ 前では自分がまだ大人になっていないと思いましたが、実習へ行った後、自分が大人になったと思い、努力すれば、上達になるようにと思いました。
- ◇ 周りのイメージに流された考え方だったが、自分で体験することで、自分の考えを持つことが出来た。(業界に対して)
- ◇ 目的意識を強く持とうと思うようになりました。
- ◇ 物事に取り組む姿勢
- ◇ 私は会社はパソコンに向かってばかりの事務仕事ばかりだと思っていた。しかし、実際は、実験や会議や講義のなどをして、いろいろなこともするのだと知った。
- ◇ どのような仕事でも重要な役割と責任があることを実感し、仕事に対する責任感が強くなりました。
- ◇ 学習意欲が高まった。実習をするにあたり、学校で習ったことがそのまま活かすことができたので、学習すればするほど、社会人につながるものがあると感じた。

16. 後輩へのアドバイス（自由筆記）

- ◇ 勉強のできや知識はある程度持っていれば大体は大丈夫。あとは取り組む姿勢や好奇心を持って積極的に行動する事。なにより必要なのはコミュニケーション能力だと思う。
- ◇ どうせ行くなら、ちゃんと自分がどんな仕事をしたいのか、それにあった企業に応募した方が得られるものは大きいと思う
- ◇ 交通費が出るところを選んだ方が良い。
- ◇ 他の実習生では違うかもしれませんが、私の実習では授業の延長線上を行っていた印象を受けました。なので、これから実習の臨む後輩達には、あまり気負いをせずリラックスして実習を行って行ってください。
- ◇ あいさつと態度
何かを学ぼうとする態度を見せるべきだと思う
- ◇ 企業をプログラムまでしっかりみて決めた方がいいと思う。
- ◇ 今の考えが新しい方向に変わったりするから行った方がいいと思った。
- ◇ 就職を考えている人は行くべきです。
- ◇ 早めにそして積極的に行動した方が良い。遅くなると選択肢が少なくなる。早めに調べて早めに行動。
- ◇ 実際の仕事を体験できる実習先に行った方がよい。
- ◇ 最低でも2週間以上のインターンシップを勧めます。短いと担当の方とも仲良くなれず、よくわからないまま終わってしまいます。
- ◇ インターンシップ業務内容はしっかり確認を取り、うまくマッチングが取れるようにした方がいい。自分の場合は、時期が悪かったこともあるが思ったことができなかった。あと総務の人は口が上手いのでとらえ方を間違えるとずるずると思わぬ方向へ行くことがあるので気を付けるよう。
- ◇ 実習は会社の役にはあまり立てないけれど、多くの事を学ぶことができます。そして、私は考え方も変わりました。若いうちはいくら失敗しても大丈夫なので、夢を大きく持って挑戦すると良いと思いました。最初に苦労すれば、あとが楽になります。何事も「出来る」と思って頑張ってください。
- ◇ インターンシップで得られる物は確かにあると思うので、終わる時まできちんとがんばって仕事して下さい。
- ◇ インターンシップは、企業で働いて、企業のことを知るチャンスではあるが、社会人と交流できるチャンスでもある。講演で聞いたりする社会人の話よりも、より具体的な話が聞けることもある。なので希望通りの企業でなくても、すすんで参加すると良いと思う。インターンシップでは、人並みの仕事が最初のうちはできないと思うが、受け入れてくれる以上、面倒は見ってくれるので、出来る限り精一杯頑張る。
- ◇ 笑顔で対応する、困ったことは聞く。
- ◇ 自分の希望する職種でなくても十分成果を得られます。
インターンシップに行って実際の現場の雰囲気を感じましょう。
- ◇ 実力が伴わなくて当然です。大切なのは失敗を恐れずに挑戦する事だと思います。その中で実力はついてくるのですから。
- ◇ 事前に実習内容に関する事を予習しておけばより充実した実習が送れると思います。
- ◇ 工場に入り、熱さを体験することが大事と考える。

事前に研修内容を調べるとより理解が深まるので良いと思う。
- ◇ 職場内はとてもいい環境で、皆さん親切にしてくれるので、働きやすいです。
普段の学生生活では体験できないようなことを、たくさんさせていただけます。
- ◇ 従業員の方々へ積極的に話を聞きに行くべきです。
- ◇ インターンシップに行く時、怖がるよりも、積極的に自分の知りたい事や分からないことを意思表示し、伝えていくことが自分達にとっても相手の方にとっても最も良いと思うので、臆怯になって縮こまらないようにしてください。

- ◇ 自分の頭で考えて積極的に動いていくこと。
疑問に思ったことは何でも質問してみること。メモを取る。会社と退社の挨拶は、大きな声でハッキリと言おう。睡眠は帰ってしっかり取ること。
- ◇ いざ現場に行くと不安やプレッシャーから受け身になり、質問をすることができず、疑問を残してしまうことがあるので、もし疑問を残してしまったら、それらを箇条にしてまとめておいて、翌日にまとめて質問すると良いかもしれません。
研修日誌に書き、それを通して回答を得るのも有効だと思います。
- ◇ (場所にもよると思うけど)
自分がやってみたいことは積極的に伝えないと後悔する…かもしれない。
- ◇ 実習行く前は皆不安だと思いますが、実習中に本気で頑張れば必ず何か得るものがあります。ぜひ参加して見て下さい。(個人的には中小企業へ参加するのがオススメです。
- ◇ 実習先と自宅からのアクセスマップは事前に調べた方がよい。(最寄りの駅から歩いてどのくらいの距離があるか、など
小規模な企業だと、インターンシップ中に急な仕事が入ったとき、だれも教えてくれる人が居ない状態になる可能性があるから注意した方がいい。
- ◇ とりあえず、あいさつだけはしっかりしておけば大丈夫です。
- ◇ インターンシップの他に、実際の職場で働くという経験はできないし、中小企業に行けば、その技術も見れます。働くことに対する考え方が変わることもあるし、それが就職席を決める上でも、とても重要なものになるので、インターンシップはぜひ行くべきだと思います。
- ◇ 積極的に質問をして、出来るだけ多くのことに疑問をもつ、という姿勢で行い事が大事だと思います。
- ◇ 僕の担当をして下さった方々はとても優しくかったので、緊張せずに、色々な話を聞けばいいと思います。
- ◇ 明るくあいさつをしたり、貴になることはすぐに質問することで、会社の方々もあたたかくこたえてくれます。
- ◇ 不安なことがあったとしてもなんとかなる
必ず自分のためになる。
- ◇ 絶対に、インターンに行った方が良くと思う。
もし、興味のある職種や企業がなくても、絶対に何か得ることができるし、考え方を改めることができる。
- ◇ 大学生活の中で体験することのない緊張感や責任感を実感することができるため、私はインターンシップに参加することを勧めます。
アドバイスとしてインターネットで御社のHPをよく目を通して自分の興味のわく内容はメモなどしておくことが大事で、実習中もメモを取ることは大切です。
- ◇ 実習先は、よく調べてから選んだ方が良くと思います。
- ◇ 仕事場では、積極的な態度を持つのが大切です。
自分の専門と合わなくても努力すれば、うまく行けると思います。
- ◇ 漠然としたイメージしか社会人になかったら行くべき
- ◇ 会社ではたくさんわからないことがあると思いますが、そんな時はすぐにまわりの人に質問した方がいいと思う。
- ◇ インターンに行った方がいいと思う。
自分のレベルが分かるし、これから身につけなければいけないこともわかるだろうから。
- ◇ 迷っていたら、必ず参加すべきだと思う。事前に質問を考えておくとよい。
- ◇ 前準備から研修終了後まで、企業に失礼のないようにすること。よく質問をし、メモを取る。
- ◇ 自分の興味のある分野や企業に行くべき。
- ◇ 実習内容が自分の考えるものと違うことはよくあります。
私はエネルギー・デバイスを専門としていますが、研修はシステムのプログラム製作でした。もし研修内容を重視するようならば、出来る限り企業を選ぶべきでしょう。
- ◇ どんな仕事であっても、実際に体験することは自分のためになると思うので、少しでも興味がある仕事をぜひ体験してほしいです。

- ◇ 特にありませんが、企業選びにそこまで慎重になる必要はないと思います。
- ◇ 自分の行きたい会社に行って下さい。行けるチャンスもなかなかないし、絶対プラスになります。
- ◇ 最低限のマナー(あいさつや丁寧な言葉遣い、時間を守るなど)を守れていれば、過度に不安を持つ必要はありません。企業の方と関係を築くチャンスなので、ぜひ参加すべきだと思います。特に北九州の企業には九工大とかかわりのある方も多くいらっしゃるの、積極的にコミュニケーションをとると良いでしょう。その場合、名刺を頂くこと、実習後にお礼のメール(アドレスは名刺に記載されているはず)を送ることを忘れずに！
- ◇ 実習期間は長いようでごく短いので、気になったことはすぐ質問するようにした方がいいです。時間については、集合時刻より30～40分早く行くように心がけ、待機しておくようにすると心にもゆとりが持てるかと思います。早く行く分は遅刻するよりもいいと思うので、早寝早起きに徹して下さい。自分は無理でした。あいさつをしっかりとしましょう。人間関係の基本です。
- ◇ 「仕事をする」ということは、普段の学生生活では他県できないことなので、ぜひインターンシップと通して体験してみるべきだと思う。
- ◇ 暇な人は受けた方がよい。
- ◇ インターンシップ先の企業はむしろ自分の専門分野外に行った方が考え方がかわり、自分の専門分野を違う観点から考えられ、自分の成長につながると思います。
- ◇ 仕事をするイメージを付けることが明確に出来るので、あきらめずに、いろんな企業のインターンシップのテストや面接を受けること、良い経験ができると思います。
- ◇ 目的を持って実習にのぞめば、得られるものも大きいと思います。
- ◇ 大企業も気になると思うが、中小企業をみて、アットホームな職場もありだと思う。
- ◇ 出来るだけ家から近く、交通手段があるところを選びましょう。
- ◇ 不安にならず、新しいことを多く学べるという考えを持って挑むことだと思う。
- ◇ 大学のキャリアセンターホームページに書いてある職種一覧だけでは、あいまいであるので、やりたい職種があるのなら、事前にその企業に対してよく調べた方が良いと感じた。

17. 実習の感想（自由筆記）

- ◇ 2週間という短い期間ではありましたが、かなり密度の高い実習を行っていただく事が出来、非常に貴重な体験をすることができました。企業のお話から技術者としての社会での立ち位置や、社会へのかかわりを改めて考えることもできました。インターンシップは、就職を考えるならば一度は行っておくべきだと強く感じた。
- ◇ 今回のインターンシップは私にとってとても良い経験になりました。大企業ではなく中小企業に行く事ができて本当に良かったと思います。中小企業に行ったからこそ学べた事が多くあったからです。この経験をこれからの自分の人生に活かしていきたいと思います。
- ◇ 実習期間は学校で普段過ごす時間よりもさらに記憶に濃く残りました。実習先の方々はとても接しやすく、実習で分からないことは尋ねると、丁寧にやさしく教えてくれ、期間は長く感じましたが、非常に楽しく過ごすことができました。
- ◇ 実習を受けて、今まで学んだことの復習、応用技術を学べたので、実習に行って良かったと思う
- ◇ 分野が違いすぎてあまり作業ができなかったのがとても残念でした。ただとても良い経験であったので行って良かったです。
- ◇ 様々な事を学べた。体力もついて良かった。
- ◇ 夏休みを有意義に使えた。
- ◇ ほぼ作業だけだったので楽といえば楽だった。
- ◇ 実際の仕事は、自分の想像していた以上に大変でした。しかし、実習で得たものはとても大きかったと思っています。

- ◇ 予定が多く、忙しい中、インターンシップを引き受けていただいたので感謝しています。考えていた仕事とはジャンルの異なる仕事でしたがとても楽しく、充実した仕事をすることができました。
- ◇ 棚卸という知識の必要のない業務を行ったが、その中でも様々な部門で働く社員の方と話す機会があり、とても実りのあるインターンシップだった。社会人ならではの話もあり、理系学生の就活や研究などの話も聞いた。新入社員を採る側の考え方を聞いたことは今後の就職活動にも活かせると感じた。インターンシップの中で失敗したなあ、と思うことは多々あったが、学べた事が多かったので、インターンシップに参加したことは、良かったと思う。
- ◇ インターンシップ先の企業の方はとても親切でした。そして、個性的な方が多かったです。少ない従業員で、それぞれの個性を生かして働いていて、チームワークの良さを感じました。私も10年後には、そのような得意分野を持っている個性のある人になりたいと思いました。
- ◇ 実習に行った時、受入先の方々はとても明るく歓迎して下さったことがうれしかった。実習として製品テストや製造作業の手伝いをさせてもらったが、うまくいかないことだらけで、自分の能力を知るいい機会になったと思う。
- ◇ 実習では、性格でもあるけれど、人見知り激しすぎて、社内の人と雑談があまりできなかった。何分、忙しそうだったり、休憩中は疲れてそうな感じだと認識していたので、声をかけづらいということあった。しかし、実習後、アドバイスをもらったら「もっとコミュニケーションをとってほしかった」と書いてあった。やっぱり、そういう所は、もっと積極的でないといけないのだなと痛感した。
- ◇ 実習先の方にいろいろよくしてもらえてよかったです。
- ◇ 取引先の企業や営業支部にまで連れて行っていただき会社がどのような所なのか肌で感じる事が出来ました。実習前後で大きく変わることは出来ませんでした。やっぱり自分を成長させることができました。
- ◇ とにかく親切・丁寧に指導していただいて、とても動きやすかったです。少しではありますが、自分より年上の大人と話すことができるようになったと思います。
- ◇ インターンシップに参加して、働くイメージがつかえました。研修の中で自分に足りない課題が多く見つかったので、今後の学生生活で少しでも克服できるようにしていきたいと思います。
- ◇ 受入先にとっても良くしていただいた。
- ◇ 貴重な体験をすることができ、今後の自分いつもお世話になっております。活動や就職活動に役立ってよかったです。
- ◇ 響灘工場の工場長をはじめ、たくさんの方々に感謝しています。ギラヴァンツの選手からサインをいただいたのもいい思い出になりました。
- ◇ 思っていたよりも得るものが多くて良かった。長い時間を使ったけれどそれ以上のものは、手に入れたと思う。
- ◇ 実習先で行った仕事は、学生実験のようなものだったのですが、規模が大きく、驚かされたり、知らない装置がでてきたり、会社と大学の違いを感じました。また、実験も上手いかず、どうすればいいのか分からなくなったりもしました。ですが、そういった体験を含めて、しっかり考えるいい機会となり、貴重な一週間となったと考えます。
- ◇ 実習中、様々な方からの色々な考え方を話していただきました。PDCAサイクルを意識すること、コミュニケーションの大切さなど、教わったことは、書いていくときがありません。また、自分で意味を考え、自分から積極的にコミュニケーションをしていったことが、自分の糧となっている気がします。このインターンシップの経験は、今後の就職活動の際に大きな力になってくれると思います。人生を変える実習になったかもしれません。
- ◇ 会社に入って見学をし、講義を受け、実際に作業してみる。ほぼすべてが大学では学べないことでした。今回の実習では、対人関係、会社経営、現場作り、現場作業と多くのことを学ばせていただきました。休みを削っての実習でしたが、非常に有意義な機関にすることができました。

- ◇ とてもいい企業さんにインターンシップで行けて本当に良かったです。
雰囲気もその職場の方々の人と為りも理想とっていいほどで将来そんな企業で働けたらいいと思いました。
自分はあまり話すのが得意ではないで、誰も自分を知らないという実習先で、自分について何度も話すのは大変でしたが、いい練習にもなりました。
このような機会を与えていただきありがとうございました。
- ◇ 実習中は1人で装置を作り、計測をし、まとめるなど、ほとんどやらないといけなかったのが大変でしたが、その分、責任感が生まれ、最終日の発表までとても充実した日々を送ることができました。
今の自分はまだまだ知識が足りないということを知ることができたので、大学院を含めた約3年間でさらにその分を補っていかうと思います。
- ◇ 五日間と実習期間は短かったものの、工場見学と設計の実習、及び質問の時間を取る事が出来、非常に有意義な五日間を過ごすことが出来た。
しかし、担当の方に急な仕事が入り、しばらく自分一人で作業を続ける時間が続くことがあった(3次元CADの操作には慣れていたので、自分にとっては問題なかったが、他の人だとかなり厳しいと思う)
自分の能力が評価され、会社の部長さんから入社を勧められたことが今回のインターンで一番印象に残った。
- ◇ 2週間長いようで短いインターンシップでした。よい経験になりました。
- ◇ 初めて会う人たちの中で初めてのことを行うのは、最初はとても不安でしたが、同時に普段絶対見れないものに触られるので、すべてが新鮮で楽しさもありました。体験してみないと分からない働くということに対する考えも分かったので、今回のインターンシップ実習では、とても大きなものを得ることができました。
- ◇ 多くの方々のご支援もあり、本当に良いインターンシップを体験することができました。多くの話も聞けて、社会人として必要であることなども身に染みて感じました。本当に良い経験になりました。
- ◇ 大学生活とは全く違う生活リズムでの2週間で、つらい部分もありましたが、大学ではできない体験ができて、とても充実したものとなりました。行って良かったと思います。
- ◇ 今回、実習に参加して本当に良かったと思っています。
今後の学校生活や就職活動を力を抜かずに頑張ろうと思いました。
- ◇ 初めのうちは分からないことだらけだったが、3日目、4日目になるといろいろ分かってきてとても楽しかった。
充実した研修ができた。
- ◇ 今回、インターンに参加して良かった。大変な事も多かったが、この機会を無駄にしないよう大学生活、就職活動を行いたいと思う。北九州の中小企業には九工大の先輩も多く、とてもかわいがっていただいた。大手企業のインターンに参加するのも良いと思うが、北九州には私達の先輩が多く活躍していてそれを見ることができて良かった。
- ◇ インターンシップに行った前後で今後、自分がどのように大学生活をおくるべきかという考え方が大きく変わった。行く前まではただ何となく授業に出て単位を取ればいいと適当な考えであったのが、行った後では自分の本当にやりたいこと、またそのことに責任がもてるかということもふくめて、残りの生活を送っていきたくと思った。
- ◇ インターンシップを受けるまでは、就職できるなら、どんな仕事でも良いと思っていたが、やはり企業や、業界の知識を身につけ、自分がどのような希望をもっているのか、よく考えたいと思った。
- ◇ 実習では、上司や先輩たちは、私に自信を持たせ、大人に成長してきたと思います。みんなが優しく、よくお土産をもらいました。次長にもやき鳥をごちそうしてもらいました。本当に楽しかったです。留学生を受け入れてもらってありがたいです。
今回の実習を通して、社会ではどんな人材を求めているのか分かりました。これからも頑張っていきたいと思います。
- ◇ 私は今回いろいろな経験をすることができた。
セバングマさんだけの技術についての特別講義をしていただいた。この講義は学校では学べない最新技術について、社長自らが私に講義してくれた。また、実験は課題をするために自由にさせていただいた。私はセバングマさんで学んだことをこれからの大学生活に活かしていけるように生活していきたい。
- ◇ テーマだけを与えられ、実験操作を一から考え、結果が分からないことをするのは初めてでした。これが楽しいと感じてしまったので、改めて研究職に就きたいと思いました。

- ◇ 実習直前は、非常に心配でしたが、始まると楽しく終えることができました。普段は聞きづらい質問などもできて、大変参考になった。
- ◇ 8日間という短い期間でも、学ぶことはたくさんあった。このインターンシップで学んだことを就職活動で活かす機会があればよいと思う。
- ◇ いい経験になった。実際に自分が企業で働くということがどのようなことかをイメージできるもので、就職活動にも活かせると感じた。
- ◇ 会社の中に入ってしまうと、社会人としてはみな平等になれます。なので就職説明会などよりもフランクに話をすることが可能でした。また自分いつもお世話になっております。専門分野の仕事を見れるので、社員がどういったものを作りたくて、何を苦勞しているのかがよく分かりました。
- ◇ 自分が知らなかった言葉などを知る良い機会になりました。工場見学にも行かせていただけて、感が方の変化もあったので、ありがたかったです。プレゼンを作る際に気をつけることなどを教えていただけたので、これからに活かしていきたいと思います。
- ◇ インターンシップ十種はきつい、という印象を受けがちですが、今回実習を経験して、まったくそういうことは無かったということ、後輩たちに伝えたいです。とても良くして頂き、楽しい実習になりました。
- ◇ 5日間と短い期間でしたが、貴重な体験をさせて頂くことができました。実習の機会を与えて下さった安川情報システム株式会社の皆様、また実習の申込み以降たびたびお世話になりました工学部キャリアセンターの皆様深く感謝申し上げます。
- ◇ 5日間の実習でしたが、5日間とは思えないほど充実したプログラムで大変満足のおゆ、貴重な時間となりました。接したほとんどの方に「社会人に必要なスキルは何か？」「学生生活において学んでおくべきことは何か」という質問をさせて頂いたところ、そのほとんどの方が「人とコミュニケーションをとれるようになっていることが必要」という回答を頂きました。社会は人と人との関わりの中で生まれるものだから、職能や学力以前に円滑な対話を図れるということが前提だと担当の方が仰られていたのが非常に印象的でした。なので、実習中はいろいろな人と話してみようと思い、積極的に自分からあいさつや世間話、質問、「何かお手伝いできることはありませんか」等の質問をしていきました。結果的に接したほとんどの方とかなり親密になれたような気がします。「今日はこれを尋ねよう」「これだけは覚えて帰ろう」といったように目標を定めていたので、自分にとって得るものがとても多いインターンシップとなりました。
- ◇ 長時間の立作業は、想像以上にきつかった。朝早くからの作業にも関わらず、研修期間中は遅刻をしてくる社員の方が1人もいなかった。遅刻が許されることの多い学生生活がいかに恵まれたものであるかということを感じた。
- ◇ 企業の方が、やさしく接してくれたので、初日以外はあまり緊張せずすんだ。
- ◇ インターンシップ中は本当に会社の一員として扱って下さり、失敗をしたら怒られたりもありました。しかし、特別扱いがなく、社会人としての大変貴重な体験ができたと思います。役員の人ほど話すのが好きな人が多いのだと思いました。
- ◇ 私は今回の実習を通して、仕事をするということがどんなことであるのか、特に設計の仕事がどんなものであるのかを少し知ることができました。又、自分が働いていくにあたってどこがまだ足りていなくて、どこを改善していかなければいけないのかを知ることができました。この経験を活かしてこれからの就職活動につなげて行きたいと思います。
- ◇ インターンシップで就職に対する考えがかわり、大切な事を多く学んだ。この学んだことを将来に活かすことが今回お世話になった方々への恩返しになると思うので、精一杯頑張りたいと思う。
- ◇ 係の方々みなさんが丁寧に優しく指導して下さい、実際仕事をするにあたってきつかったですが、それだけじゃなく楽しめたので良かったと思う。マナー研修やプレゼンは今の時代必要なことなので、経験することができ、多くのことを学べたので、インターンシップに行けて良かったと感じました。